

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	行政文化センター駐車場改善事業			事業番号	32-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	総務部	安藤 隆幸	管財契約検査課	廣田 厚志	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち		
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり		
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる		
		施策	32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進		
予算事業名	庁舎維持管理費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない		
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	—	
関連法令等	地方自治法、伊勢原市公有財産規則					
国・県の計画等			計画期間			
関連個別計画			計画期間			
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	行政文化センター地区は、市役所や市民文化会館など様々な施設が立地しており、駐車場不足による混雑状態が多く発生している。					
目的 (何をどうしたいのか)	・駐車場不足による混雑解消のため施設整備を行い、施設利用者の利便性向上を図る。 ・目的外利用者の排除により実駐車台数を確保する。					
主な対象 (誰・何を対象に)	駐車場利用者					
事業内容 (手段、手法など)	・有料化の実施は、今後混雑状況を見極めた上で検討し、「目的外利用者の排除」や「駐車場不足の解消策」に取り組みます。					
事業行程	項目	年度				
		28年度	29年度			
	目的外利用者の排除	実施	取組の検証			
	駐車場不足の解消策	実施	取組の検証			
	駐車場の有料化	調査・検討	調査・検討			
協同病院との相互利用	事業者調整	事業者調整				
目 標	【指標名】	【現状】	年度			
			28年度	29年度		
	行政文化センター駐車場の混雑日数	121日	100日	90日		



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の目的外利用者排除の取組として、市庁舎警備員等の立哨等を継続して実施し、職員による注意喚起・指導を徹底し行う。 ・各施設の催し物・事業の実施時間帯の競合を回避するため、各施設管理者間での調整を実施する。 ・文化会館専用借地駐車場の活用を徹底していく。 		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	目的外利用者の排除	実施	
	駐車場不足の解消策	実施	
	駐車場の有料化	未実施	
	協同病院との相互利用	未実施	
実施した取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用施設の管理者間で催しや事業実施日を把握し混雑が予想される場合には、主催者関係車両を文化会館臨時駐車場への誘導を徹底した。 ・駐車場不足の解消策として、青少年センター体育館横駐車場に新たに2台の駐車場台数を確保した。 		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	行政文化センター駐車場の混雑日数	121日	139日

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		775	千円				千円		
内訳	国県支出金 ①	0	千円				千円		
	地方債 ②	0	千円				千円		
	その他特財 ③	0	千円				千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	775	千円				0	千円	
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他							
人件費	正規職員	0.28	人	2,422	千円		人		千円
	その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.28	人	2,422	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)		3,197	千円						千円
単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位				
		対象数	101,635	人					
	総事業費／対象数	31	円						

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	・駐車場利用施設の施設管理者間での催しや、事業実施日の把握を行い、混雑時は文化会館臨時駐車場の利用案内や交通誘導を行うとともに青少年センター体育館横駐車場に新たに2台分を増設したが、混雑解消には繋がらなかった。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	・平塚市では、新市庁舎の完成に合わせて駐車場の有料化を開始した。秦野市では、駐車場の一部立体化を行い、混雑緩和を図っている。しかし、混雑解消対策については、各市町村で取組が異なるため、一律での比較は困難である。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input checked="" type="radio"/> 低い (C)	C	左記判断理由	・駐車場不足の解消対策として、既存駐車場を拡張したものの、規模が小さく混雑の緩和につながらなかった。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input checked="" type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	C	左記判断理由	・催し物や事業がある時には、現在の駐車収容台数では対応できない状況のため、一部立体化や臨時駐車場の確保をする必要がある。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	・駐車場利用の各施設管理者間での催しや事業実施日の把握に努めているが、施設利用の受付開始日などが異なるため、事業の重複回避のための施設間の調整が困難である。
次年度の取組方針		<ul style="list-style-type: none"> ・目的外利用の排除については、引き続き駐車場開場時の市庁舎警備員による利用者動向調査を継続する。 ・文化会館臨時駐車場の有効利用と混雑時の誘導を徹底し、混雑緩和を図る。 		
所管部長による総評		混雑時に空きスペースを把握できる仕組みづくりや駐車場へのスムーズな出入りができる方策などを検討し、来庁者の利便性向上を図る必要がある。		